

# 上越信用金庫

## 中小企業景気動向調査

### 上越市版

Vol. 42

2022/4 発行

上越信用金庫では、この程上越地域の中小企業の皆様からご協力をいただき、2022年1月～3月期の景気の現状と2022年4月～6月期の見通しを調査いたしました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。なお、今回は2021年12月に行った前回調査結果および信金中央金庫が実施している同種の調査結果による全国平均とを比較して分析しています。

#### <調査概要>

1. 調査時点 : 2022年2月15日～3月14日
2. 調査方法 : 上越地域の営業店得意先による調査表に基づくアンケート
3. 依頼先数 : 328社(有効回答数325社・回答率99.1%)【信金中央金庫アンケート分含む】
4. 分析方法 : 各質問項目について、「増加」(良い)－「減少」(悪い)の構成比の差＝判断D.I.に基づく分析  
D.I.とは、良い割合から悪い割合を差引いた値
5. 分析値 : 各数値は、四捨五入にて表示

#### <概況>

##### ～4期ぶりに悪化～

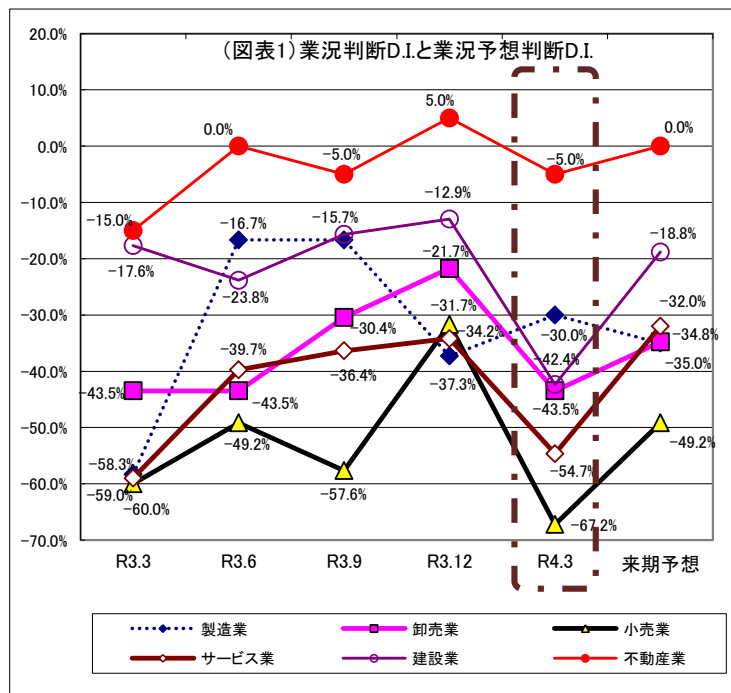
2022年1月～3月期(今期)の業況判断D.I.は、 $\Delta 45.4$ (前回 $\Delta 25.5$ )となり、前期より19.9ポイントの悪化となりました。また、全国平均においても $\Delta 27.6$ (前回 $\Delta 19.7$ )と7.9ポイントの悪化となっています。当地及び全国平均とも4期ぶりに悪化となっています。

当地の2022年4月～6月期(来期)の業況予想判断D.I.は、 $\Delta 30.6$ と今期実績比で14.8ポイント改善の見通し、全国調査の来期予想は $\Delta 24.8$ を見込んでおり、2.8ポイント改善する見通しとなっています。

当地の今期の業種別業況判断D.I.を見ると、製造業を除く5業種で悪化となりました。

製造業	$\Delta 30.0$	(前回 $\Delta 37.3$ )	前回比+7.3
卸売業	$\Delta 43.5$	(前回 $\Delta 21.7$ )	前回比-21.8
小売業	$\Delta 67.2$	(前回 $\Delta 31.7$ )	前回比-35.5
サービス業	$\Delta 54.7$	(前回 $\Delta 34.2$ )	前回比-20.5
建設業	$\Delta 42.4$	(前回 $\Delta 12.9$ )	前回比-29.5
不動産業	$\Delta 5.0$	(前回 $\Delta 5.0$ )	前回比-10.0

全国調査では、全6業種で悪化しています。



～売上額、収益とも大幅に悪化、来期の収益判断D.Iは改善との予想～

収益面では、売上額判断D. I. が△40.7（前回△8.0）と32.7ポイントの悪化、収益判断D. I. は△43.8（前回△17.2）と26.6ポイント悪化する結果となりました。来期の予想収益判断D. I. は△4.9と38.9ポイント改善の見通しとなっています。  
業種別の収益判断D. I. では、全6業種で悪化となりました。

業種別の来期4月～6月期の収益予想判断D. I. では、全6業種で改善の予想となっています。  
（製造業△5.0（当期実績△35.0）、卸売業△13.0（当期実績△30.4）、小売業△6.6（当期実績△50.8）、サービス業△8.0（当期実績△49.3）、建設業△1.2（当期実績△48.2）、不動産業5.0（当期実績△25.0））

～人手不足感はやや緩和～

人手不足判断D. I. は、△19.4（マイナスは人手「不足」超）となり、前回（△30.4）よりマイナス幅が11.0ポイント縮小し、人手不足感は若干緩和しました。  
全国平均は△19.4（前期△20.8）とマイナス幅が1.4ポイント縮小し、4期ぶりに人手不足感は若干緩和しました。

～全国的には販売価格・仕入価格が上昇～

販売価格判断D. I. は、2.2（前回7.1）と4.9ポイントの低下となりました。全国平均は12.5（前回10.4）と2.1ポイントの上昇となりました。また、仕入価格判断D. I. は、55.9（前回55.5）と0.4ポイント上昇しました。全国平均は49.3（前回44.2）と5.1ポイント上昇し、2008年以来の高水準となっています。

～資金繰りは全体的に悪化～

資金繰り判断D. I. は、△23.5（前回△11.3）と12.2ポイントの悪化となりました。  
全国平均は△12.0（前回△9.6）と2.4ポイント減少、2期ぶりの悪化となりました。

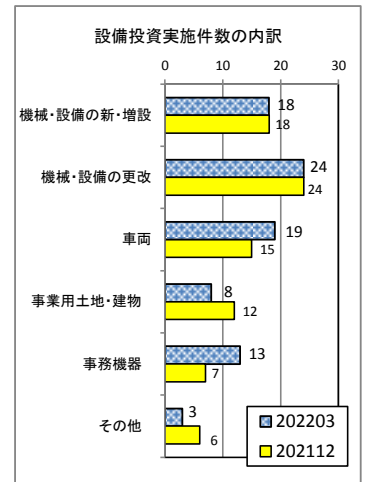
業種別の資金繰り判断D. I. は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業の5業種で改善となっています。

～設備投資は若干の増加～

設備投資実施企業割合は、26.2となり、前回（25.2）より1.0ポイント増加となりました。全国平均は19.3（前回19.9）と0.6ポイントの低下となりました。

設備投資の内訳としては、機械・設備の更改24先（前回24先）、機械・設備の新・増設18先（前回18先）、車両19先（前回15先）、事業用土地・建物8先（前回12先）等となっております。

来期（予定）については、設備投資計画企業割合が23.5と2.7ポイント悪化の見通しとなっています。

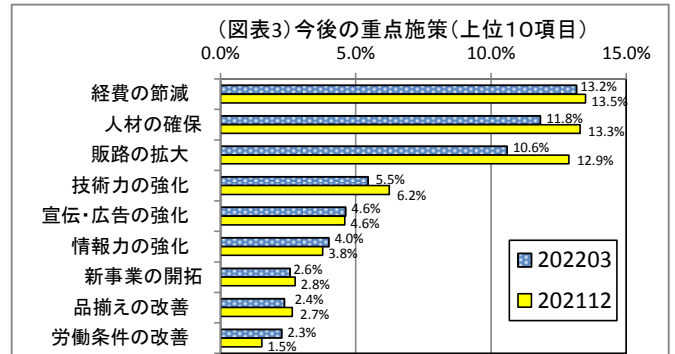
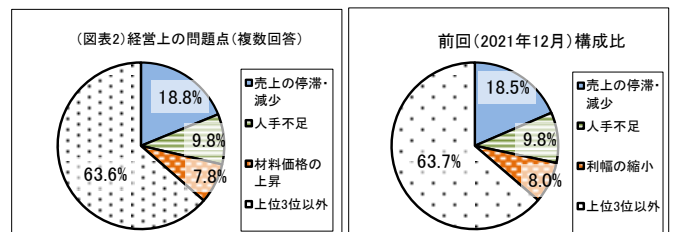


～経営上の問題点と重点施策～

経営上の問題点の上位3項目は、「売上の停滞・減少」「人手不足」「材料価格の上昇」となり、大きな問題点として取り上げられています。（図表2）

これら経営の問題点を踏まえた、今後の重点施策について上位3位は、「経費の節減」13.2%、「人材の確保」11.8%、「販路の拡大」10.6%となりました。

その他の項目においては「宣伝・広告の強化」「情報力の強化」「労働条件の改善」は前回からポイントを増やす結果となっています。（図表3）



**<製造業>【回答企業60社】**

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 30.0$ （前回 $\Delta 37.3$ ）となり、7.3ポイントの改善となりました。来期の業況予想判断D. I. は、 $\Delta 35.0$ と5.0ポイント悪化の見通しとなっています。（図表1）  
 全国平均は $\Delta 24.9$ （前回 $\Delta 18.4$ ）と6.5ポイント悪化、来期は $\Delta 21.6$ と3.3ポイント上昇の見通しとなっています。

製造業内の主要4業種の今期の業種別業況判断D. I. は、「食料品 $\Delta 75.0$ （前回 $\Delta 75.5$ ）」「その他金属製品6.7（前回6.7）」「一般機械器具 $\Delta 40.0$ （前回 $\Delta 40.0$ ）」「その他の製造業 $\Delta 42.9$ （前回 $\Delta 42.9$ ）」と4業種全て横ばいでありました。

来期の業況予想判断D. I. は、「食料品」「その他の製造業」は改善、「その他金属製品」は悪化の見通しとなっています。

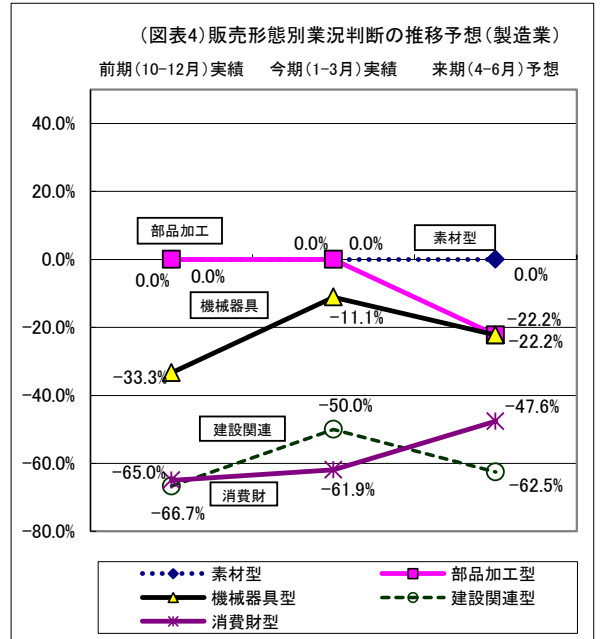
また、販売形態別の業況判断D. I. においては、「機械器具型 $\Delta 11.1$ （前回 $\Delta 33.3$ ）」「建設関連型 $\Delta 50.0$ （前回 $\Delta 66.7$ ）」「消費財型 $\Delta 61.9$ （前回 $\Delta 65.0$ ）」と3形態が改善となりました。

来期の販売形態別の業況予想判断D. I. は、「消費財型 $\Delta 47.6$ 」は改善、「機械器具型 $\Delta 22.2$ 」「部品加工型 $\Delta 22.2$ 」「建設関連型 $\Delta 62.5$ 」は悪化を予想しております。（図表4）

収益判断D. I. については、 $\Delta 35.0$ （前回 $\Delta 20.3$ ）と前期比で14.7ポイントの悪化となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 5.0$ と30.0ポイント改善する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 30.0$ （前回 $\Delta 30.5$ ）と人手不足感は僅かでありますが弱まったものの、慢性的な人手不足の厳しい状況が続いています。



**<卸売業>【回答企業23社】**

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 43.5$ （前回 $\Delta 21.7$ ）と21.8ポイントの悪化となりました。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 34.8$ となっており、改善見通しとなっています。（図表1）

全国平均 $\Delta 36.8$ （前回 $\Delta 26.2$ ）は10.6ポイント悪化、来期は $\Delta 32.2$ と4.6ポイント上昇の見通しとなっています。

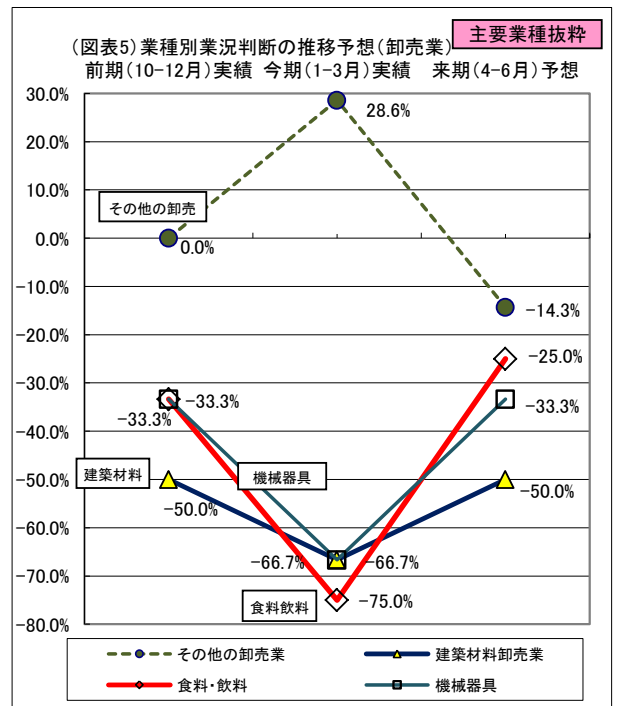
卸売業内の今期の業種別業況判断D. I. (上位4業種)は「その他の卸売業28.6（前回 $\Delta 0.0$ ）」は改善、「機械器具 $\Delta 66.7$ （前回 $\Delta 33.3$ ）」「建築材料 $\Delta 66.7$ （前回 $\Delta 50.0$ ）」「食料飲料 $\Delta 75.0$ （前回 $\Delta 33.3$ ）」は悪化となりました。

来期の業種別業況予想判断D. I. は、「食料飲料 $\Delta 25.0$ 」「機械器具 $\Delta 33.3$ 」「建築材料 $\Delta 50.0$ 」は改善、「その他の卸売業 $\Delta 14.3$ 」は悪化の見通しとなっています。（図表5）

収益面では売上判断D. I. は $\Delta 17.4$ と横ばい、収益判断D. I. は $\Delta 30.4$ （前回 $\Delta 13.0$ ）と17.4ポイント悪化となっています。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 13.0$ と17.4ポイント改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が0.0（前回 $\Delta 17.4$ ）となり17.4ポイント人手不足感は弱まっています。



## <小売業>【回答企業61社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 67.2$ （前回 $\Delta 31.7$ ）と35.5ポイントの大幅な悪化となりました。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 49.2$ と18.0ポイントと改善する予想となっています。（図表1）  
 全国平均 $\Delta 43.6$ （前回 $\Delta 37.7$ ）は5.9ポイント悪化、来期は $\Delta 38.6$ と5.0ポイント改善を予想しています。

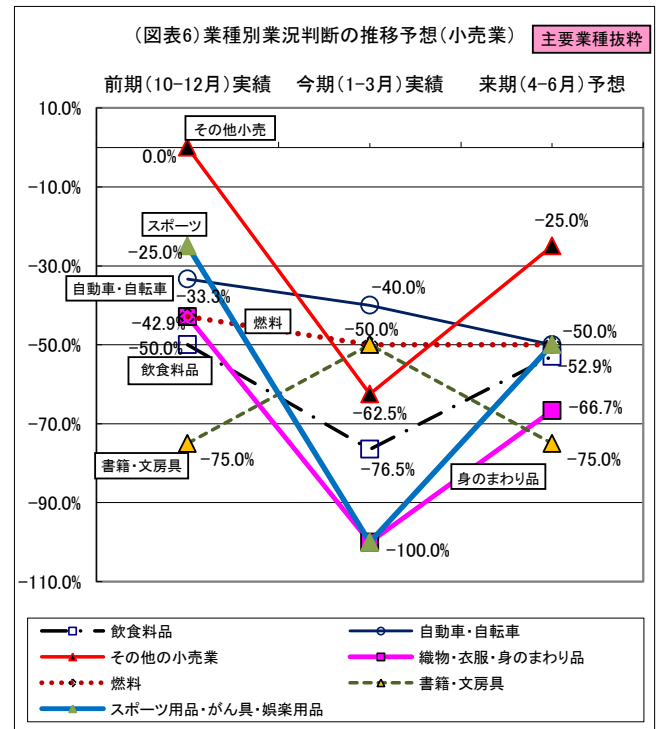
小売業内の今期の業種別業況判断D. I. は、上位7業種のうち、「書籍・文房具」を除く「衣服・身のまわり品」「飲食料品」「燃料」「自動車・自転車」「スポーツ用品・がん具」「その他小売業」の6業種で悪化する結果となりました。

また、来期の業種別業況予想判断D. I. は、「衣服・身のまわり品」「飲食料品」「スポーツ用品・がん具」「その他小売業」は改善、「燃料」は横ばい、「自動車・自転車」「書籍・文房具」は悪化する見通しとなっています。（図表6）

収益面では、売上額判断D. I. が $\Delta 45.9$ （前回 $\Delta 16.7$ ）と29.2ポイント悪化、収益判断D. I. は $\Delta 50.8$ （前回 $\Delta 40.0$ ）と10.8ポイントの悪化となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 6.6$ と44.2ポイント改善する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 16.4$ （前回 $\Delta 18.3$ ）となり、人手不足感はやや弱まったものの、慢性的な人手不足の厳しい状況が続いています。



## <サービス業>【回答企業79社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 54.7$ （前回 $\Delta 34.2$ ）と20.5ポイントの悪化となっています。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 32.0$ と22.7ポイント改善の予想となっています。（図表1）  
 全国平均 $\Delta 38.2$ （前回 $\Delta 26.7$ ）は、11.5ポイント悪化、来期は $\Delta 31.2$ と7.0ポイント改善の見通しとなっています。

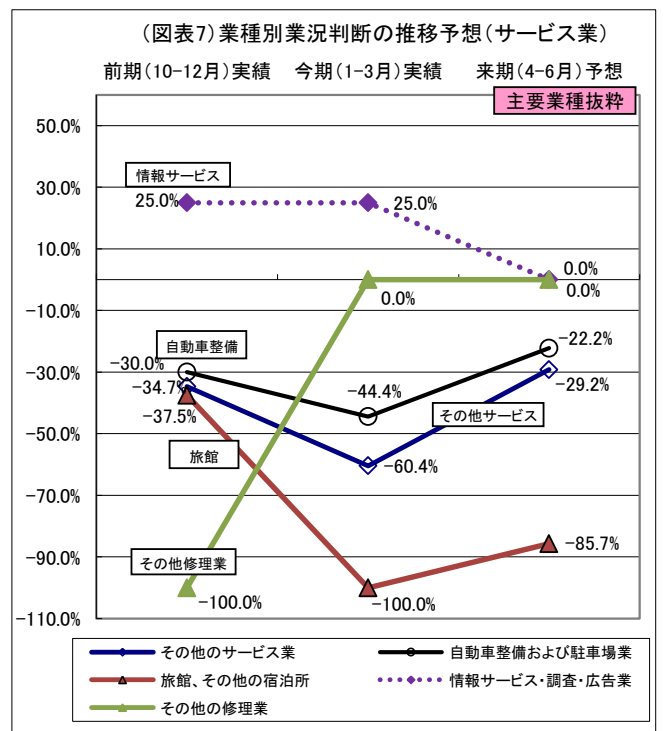
サービス業内の上位5業種の今期の業種別業況判断D. I. は、「その他の修理業0.0（前回 $\Delta 100.0$ ）」は改善、「情報サービス25.0」は横ばい、「旅館業 $\Delta 100.0$ （前回 $\Delta 37.5$ ）」「自動車整備業 $\Delta 44.4$ （前回 $\Delta 30.0$ ）」「その他のサービス業 $\Delta 60.4$ （前回 $\Delta 34.7$ ）」は悪化となりました。

また、来期の業種別業況予想判断D. I. では、「旅館業 $\Delta 85.7$ 」「自動車整備業 $\Delta 22.2$ 」「その他のサービス業 $\Delta 29.2$ 」は改善、「その他の修理業」は横ばい、「情報サービス」は悪化する見通しをしております。（図表7）

収益判断D. I. は、 $\Delta 49.3$ （前回 $\Delta 12.7$ ）と36.6ポイントの悪化となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 8.0$ と41.3ポイントの大幅な改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 17.3$ （前回 $\Delta 34.2$ ）となり、人手不足感はやや弱まったものの、慢性的な人手不足の厳しい状況が続いています。



**<建設業>【回答企業85社】**

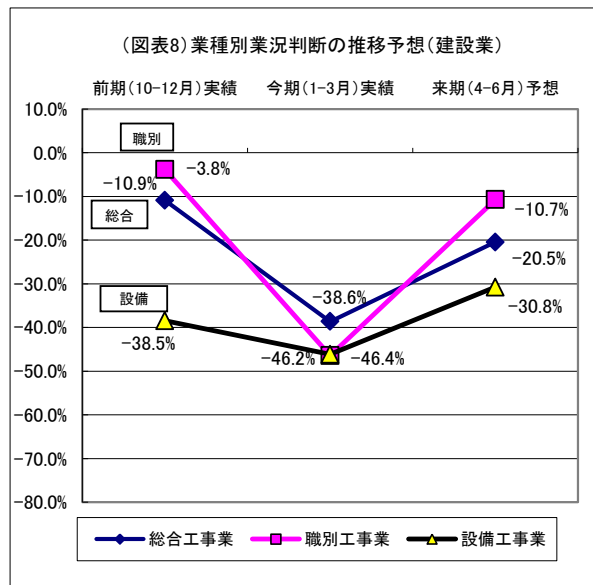
今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 42.4$  (前回 $\Delta 12.9$ )と29.5ポイントの悪化となりました。  
 来期の業況予想判断D. I. については $\Delta 18.8$ と23.6ポイント改善の見通しとなっています。(図表1)  
 全国平均 $\Delta 9.3$  (前回 $\Delta 1.2$ ) は、8.1ポイントの悪化、来期は $\Delta 13.9$ と4.6ポイント低下の見通しとなっています。

建設業内の今期の業種別業況判断D. I. は、「職別工事業  $\Delta 46.4$  (前回 $\Delta 3.8$ )」「設備工事業  $\Delta 46.2$  (前回 $\Delta 38.5$ )」「総合工事業  $\Delta 38.6$  (前回 $\Delta 10.9$ )」と3業種全てで悪化となりました。  
 来期の業況予想については、「職別工事業  $\Delta 10.7$ 」「設備工事業  $\Delta 30.8$ 」「総合工事業  $\Delta 20.5$ 」と3業種全てで改善の見通しとなっています。

(図表8)

収益判断D. I. については、 $\Delta 48.2$  (前回 $\Delta 10.6$ )と37.6ポイントの悪化となりました。  
 来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 1.2$ の予想で、47.0ポイントの大幅な改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 18.8$  (前回 $\Delta 45.9$ )と27.1ポイント人手不足感は弱まったものの、慢性的な人手不足の厳しい状況が続いています。



**<不動産業>【回答企業20社】**

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 5.0$  (前回5.0)と10.0ポイント悪化しました。  
 来期の業況予想判断D. I. は0.0と改善の見通しとなっています。(図表1)

全国平均 $\Delta 7.8$  (前回 $\Delta 1.5$ )は6.3ポイントの悪化、来期は $\Delta 7.8$ と横ばいの見通しとなっています。

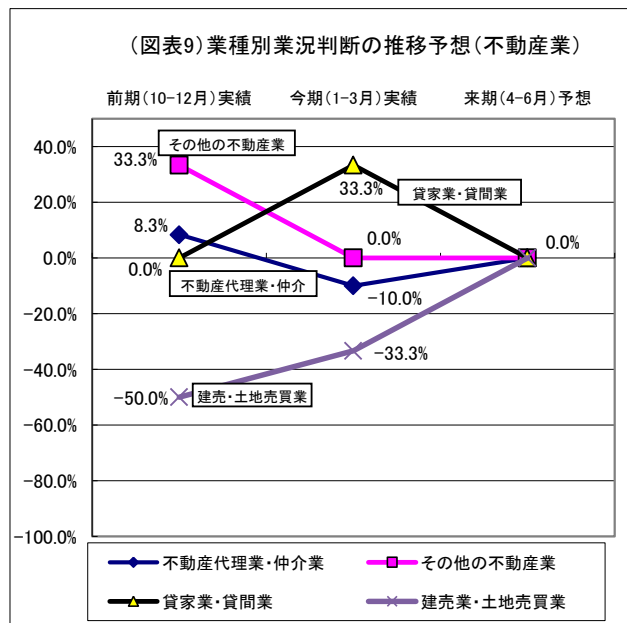
不動産業内の業種別では、「貸家業・貸間業33.3 (前回0.0)」「建売・土地売買業 $\Delta 33.3$  (前回 $\Delta 50.0$ )」は改善、「不動産代理業・仲介業 $\Delta 10.0$  (前回8.3)」「その他の不動産業0.0 (前回33.3)」は悪化となりました。

来期の業況予想D. I. は、「不動産代理業・仲介業0.00」が改善、「その他の不動産業」は横ばい、「建売・土地売買業0.0」「建売・土地売買業0.0」は悪化の見通しとなっています。(図表9)

収益判断D. I. については、 $\Delta 25.0$  (前回10.0)」と35.0ポイントの悪化となりました。

また、来期の予想収益判断D. I. については5.0と30.0ポイント改善の予想となっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 30.0$  (前回0.0)となり、人手不足感は強まっています。



以上

**特別調査の結果について**  
**～2022年(令和4年)の経営見通し～**

原油価格をはじめとした各種資源価格の上昇に加え、半導体不足、ウッドショックといった仕入環境の悪化は、中小企業の経営に様々な悪影響を及ぼしています。そこで今回は、原材料・仕入価格の上昇に伴う中小企業への影響について調査しました。

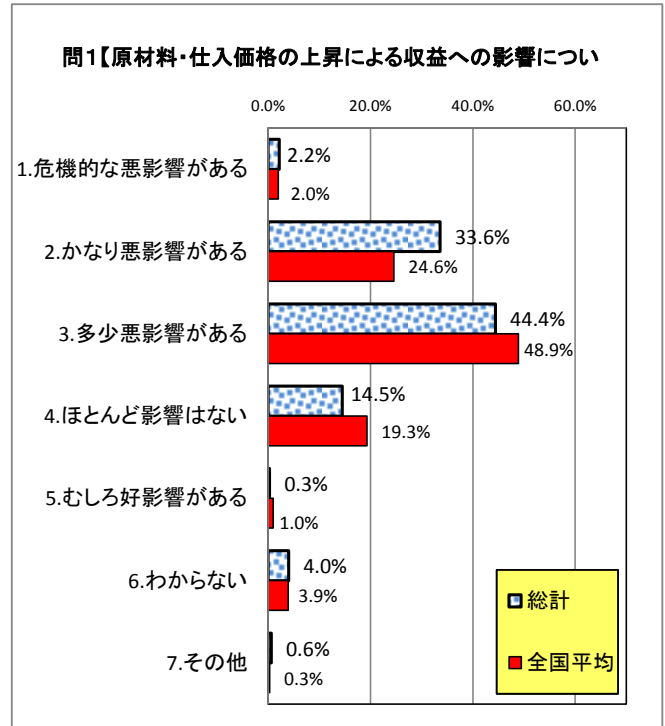
なお、複数回答の設問については、項目合計が100%を超えることがありますのでお含みおき下さい。

**【問1】**貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7中から1つ選んでお答えください。

最近の原材料・仕入価格の上昇による収益への影響については、「危機的な悪影響」は2.2%、「かなり悪影響」は33.6%、「多少悪影響」は44.4%となり、合計で80.2%が何らかの悪影響を受けている結果となりました。対して、「ほとんど影響はない」は14.5%、「むしろ好影響」は0.3%でありました。

業種別に見ると、製造業・卸売業・建設業で悪影響との回答が比較的多く見られました。

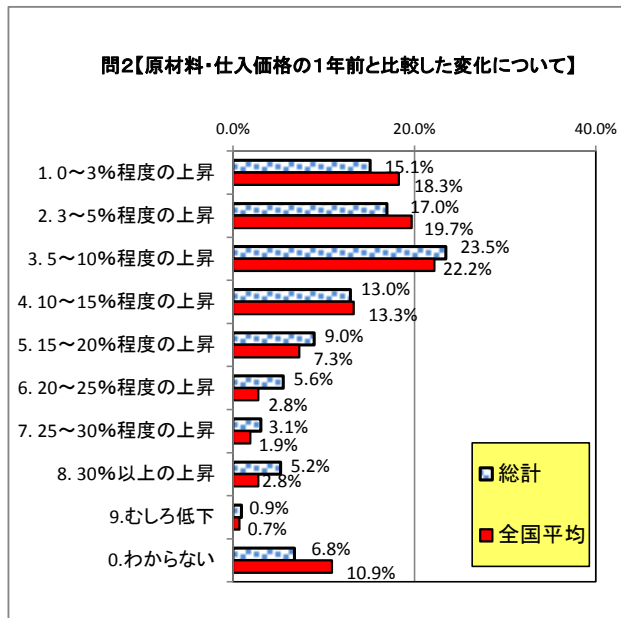
とりわけ、食料品製造業や、個人を主な受注対象とした建設業で、悪影響との回答割合が高かった。



問1	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1.危機的な悪影響がある	3.3%	0.0%	1.6%	5.3%	0.0%	0.0%	2.2%	2.0%
2.かなり悪影響がある	55.0%	34.8%	26.2%	40.0%	24.7%	5.0%	33.6%	24.6%
3.多少悪影響がある	31.7%	56.5%	50.8%	33.3%	58.8%	30.0%	44.4%	48.9%
4.ほとんど影響はない	6.7%	8.7%	19.7%	13.3%	11.8%	45.0%	14.5%	19.3%
5.むしろ好影響がある	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.3%	1.0%
6.わからない	3.3%	0.0%	1.6%	5.3%	3.5%	15.0%	4.0%	3.9%
7.その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	5.0%	0.6%	0.3%

【問2】貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1～0の中から1つ選んでお答えください。

原材料・仕入価格の1年前と比較した変化は、「5～10%程度の上昇」が23.5%と最も高く、以下「3～5%程度の上昇（17.0%）」、「0～3%程度の上昇（15.1%）」が続き、全体の5割強の企業で仕入価格上昇は10%以下となりました。一方で、10%以上上昇した企業は、全体の3割強となりました。「わからない（6.8%）」は、比較的規模の小さな企業に多く見られました。業種別にみると、製造業・卸売業・建設業で価格が上昇したとの回答が比較的多くみられました。とりわけ、建設資材や燃料関連などの業種で、上昇したとの回答割合が高かった。

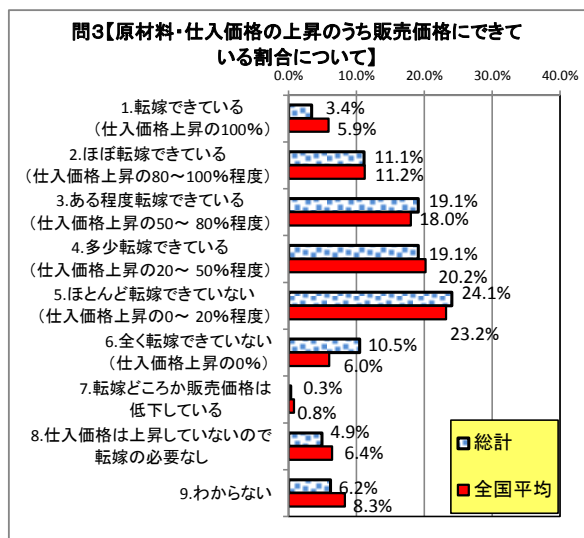


問2	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 0～3%程度の上昇	8.3%	8.7%	23.0%	20.0%	12.9%	10.0%	15.1%	18.3%
2. 3～5%程度の上昇	11.7%	34.8%	14.8%	21.3%	16.5%	5.0%	17.0%	19.7%
3. 5～10%程度の上昇	15.0%	8.7%	32.8%	25.3%	24.7%	25.0%	23.5%	22.2%
4. 10～15%程度の上昇	25.0%	17.4%	1.6%	13.3%	14.1%	0.0%	13.0%	13.3%
5. 15～20%程度の上昇	13.3%	17.4%	9.8%	2.7%	7.1%	15.0%	9.0%	7.3%
6. 20～25%程度の上昇	10.0%	4.3%	6.6%	2.7%	5.9%	0.0%	5.6%	2.8%
7. 25～30%程度の上昇	1.7%	0.0%	4.9%	2.7%	4.7%	0.0%	3.1%	1.9%
8. 30%以上の上昇	13.3%	0.0%	0.0%	4.0%	7.1%	0.0%	5.2%	2.8%
9. むしろ低下	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	10.0%	0.9%	0.7%
0. わからない	1.7%	8.7%	4.9%	5.3%	5.9%	35.0%	6.8%	10.9%

【問3】貴社では、原材料・仕入価格のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

原材料・仕入価格の上昇のうち販売価格に転嫁できている割合については、「仕入価格上昇の100%」が3.4%、「仕入価格の上昇の80～100%程度」が11.1%と、ほとんど転嫁できている企業がある一方で、「仕入価格上昇の0～20%程度」が24.1%、「仕入価格上昇の0%」が10.5%とほとんど転嫁できていない企業もあり、企業間で格差がみられました。また、「仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし」は4.9%にとどまりました。

業種別にみると、製造業やサービス業で価格転嫁が進んでいない企業が多く見られました。

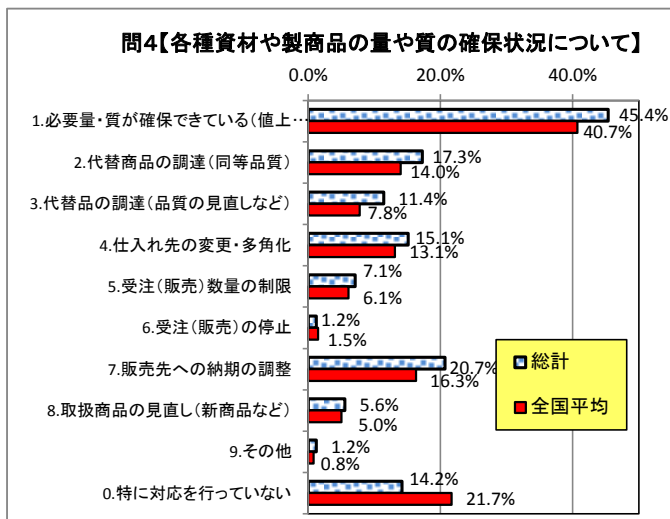


問3	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 転嫁できている(仕入価格上昇の100%)	1.7%	4.3%	8.2%	0.0%	2.4%	10.0%	3.4%	5.9%
2. ほぼ転嫁できている( " 80～100%程度)	13.3%	13.0%	16.4%	8.0%	10.6%	0.0%	11.1%	11.2%
3. ある程度転嫁できている( " 50～80%程度)	25.0%	21.7%	24.6%	12.0%	21.2%	0.0%	19.1%	18.0%
4. 多少転嫁できている( " 20～50%程度)	21.7%	21.7%	18.0%	13.3%	21.2%	25.0%	19.1%	20.2%
5. ほとんど転嫁できていない( " 0～20%程度)	20.0%	30.4%	13.1%	34.7%	27.1%	10.0%	24.1%	23.2%
6. 全く転嫁できていない( " 0%)	10.0%	4.3%	11.5%	16.0%	7.1%	10.0%	10.5%	6.0%
7. 転嫁どころか販売価格は低下している	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%
8. 仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし	1.7%	0.0%	4.9%	6.7%	2.4%	25.0%	4.9%	6.4%
9. わからない	5.0%	4.3%	3.3%	4.0%	8.2%	20.0%	6.2%	8.3%

【問4】原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれる中での、各種資材や製商品の量や質の確保状況については、「必要量・質が確保できている」が45.4%となりました。

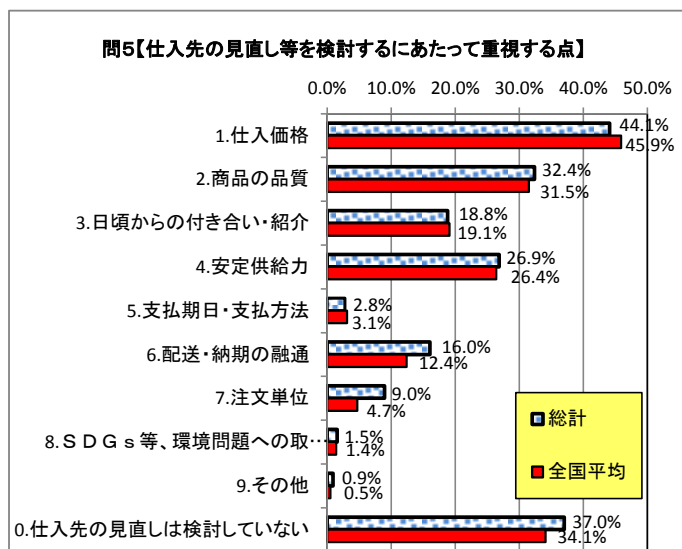
確保ができていない企業が行っている対策については、「販売先への納期の調整（20.7%）」が最も高く、以下「代替商品の調達（同等品質）（17.3%）」、「仕入先の変更・多角化（15.1%）」が続いた。また、「特に対応を行っていない」は14.2%となりました。



問4	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 必要量・質が確保できている(値上げによる調達を含む)	48.3%	30.4%	55.7%	44.0%	47.1%	20.0%	45.4%	40.7%
2. 代替商品の調達(同等品質)	18.3%	30.4%	11.5%	17.3%	17.6%	15.0%	17.3%	14.0%
3. 代替品の調達(品質の見直しなど)	16.7%	17.4%	9.8%	10.7%	7.1%	15.0%	11.4%	7.8%
4. 仕入れ先の変更・多角化	18.3%	26.1%	6.6%	12.0%	16.5%	25.0%	15.1%	13.1%
5. 受注(販売)数量の制限	6.7%	13.0%	4.9%	9.3%	4.7%	10.0%	7.1%	6.1%
6. 受注(販売)の停止	0.0%	4.3%	1.6%	1.3%	1.2%	0.0%	1.2%	1.5%
7. 販売先への納期の調整	30.0%	43.5%	16.4%	4.0%	29.4%	5.0%	20.7%	16.3%
8. 取扱商品の見直し(新商品など)	5.0%	4.3%	6.6%	8.0%	3.5%	5.0%	5.6%	5.0%
9. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	10.0%	1.2%	0.8%
0. 特に対応を行っていない	10.0%	4.3%	13.1%	18.7%	10.6%	40.0%	14.2%	21.7%

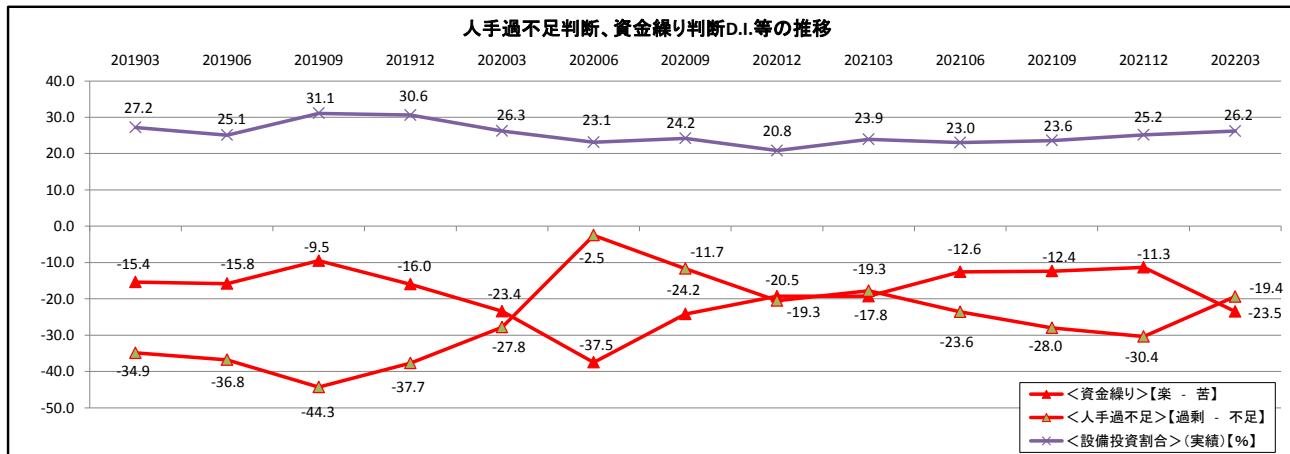
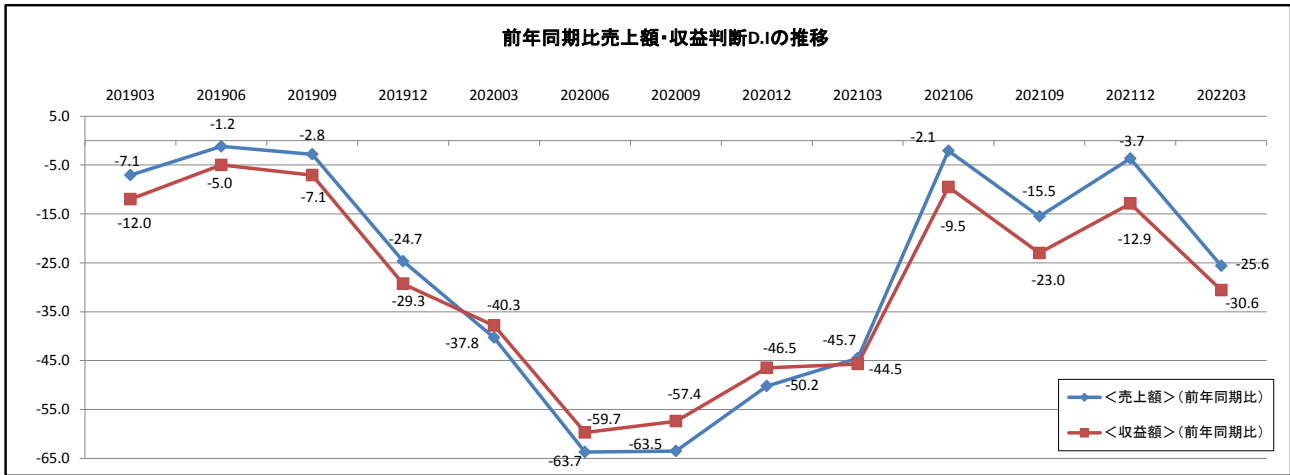
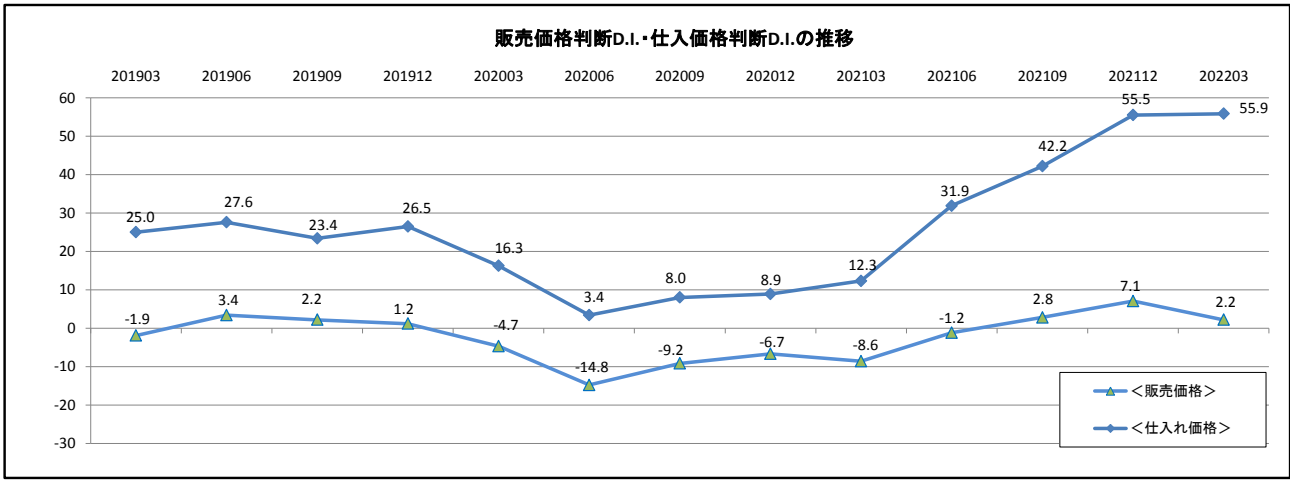
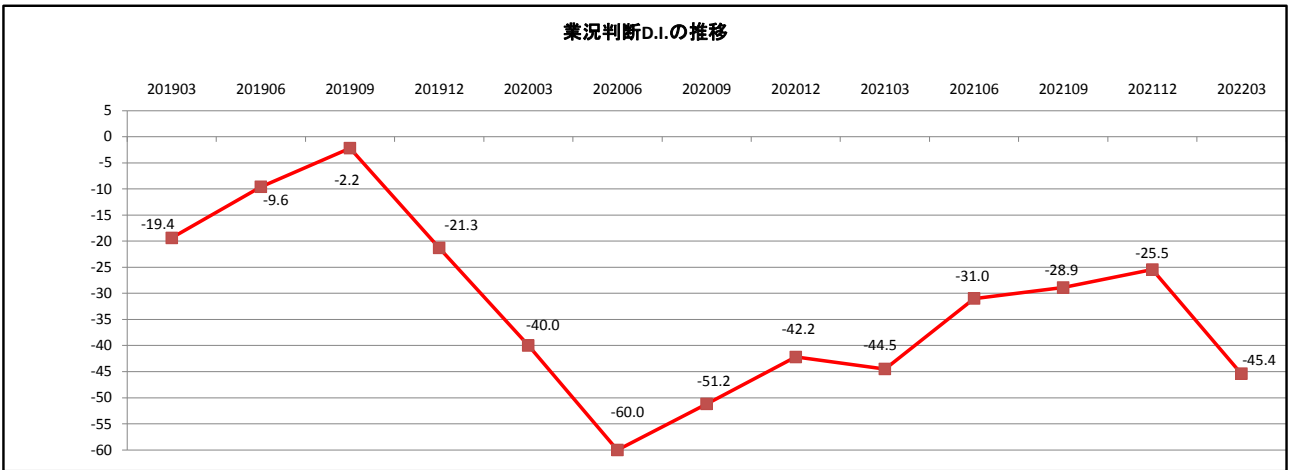
【問5】仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点がありますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点については、「仕入価格」が44.1%と最も高くなり、以下、「商品の品質（32.4%）」、「安定供給力（26.9%）」、「日頃からの付き合い・紹介（18.8%）」が続きました。対して、「仕入先の見直しは検討していない」は37.0%となりました。



問5	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 仕入価格	68.3%	43.5%	36.1%	37.3%	41.2%	35.0%	44.1%	45.9%
2. 商品の品質	45.0%	30.4%	31.1%	29.3%	25.9%	40.0%	32.4%	31.5%
3. 日頃からの付き合い・紹介	20.0%	8.7%	18.0%	18.7%	21.2%	20.0%	18.8%	19.1%
4. 安定供給力	45.0%	39.1%	16.4%	20.0%	24.7%	25.0%	26.9%	26.4%
5. 支払期日・支払方法	0.0%	4.3%	8.2%	1.3%	2.4%	0.0%	2.8%	3.1%
6. 配送・納期の融通	23.3%	21.7%	9.8%	9.3%	20.0%	15.0%	16.0%	12.4%
7. 注文単位	11.7%	13.0%	11.5%	10.7%	4.7%	0.0%	9.0%	4.7%
8. SDGs等、環境問題への取り組み	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	10.0%	1.5%	1.4%
9. その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.2%	5.0%	0.9%	0.5%
0. 仕入先の見直しは検討していない	20.0%	39.1%	42.6%	41.3%	41.2%	35.0%	37.0%	34.1%





合計 / D.I.		項目	分析基準	201912	202003	202006	202009	202012	202103	202106	202109	202112	202203	202206
業種区分	総計	<業況>(実績)		-21.3	-40.0	-60.0	-51.2	-42.2	-44.5	-31.0	-28.9	-25.5	-45.4	
		<業況>(予想)		-14.8	-31.8	-38.8	-58.5	-54.0	-55.0	-38.7	-30.1	-35.7	-40.8	-30.6
		<売上額>		-18.5	-43.4	-53.8	-27.6	-22.9	-45.7	-10.7	-9.3	-8.0	-40.7	
		<売上額>(前年同期比)		-24.7	-40.3	-63.7	-63.5	-50.2	-44.5	-2.1	-15.5	-3.7	-25.6	
		<収益>		-21.9	-42.8	-54.5	-30.1	-25.1	-47.5	-16.9	-18.9	-17.2	-43.8	
		<収益額>(前年同期比)		-29.3	-37.8	-59.7	-57.4	-46.5	-45.7	-9.5	-23.0	-12.9	-30.6	
		<収益>(予想)		-8.6	-29.9	-22.5	-40.3	-37.1	-37.9	-16.6	-16.6	-26.7	-38.7	-4.9
		<販売価格>		1.2	-4.7	-14.8	-9.2	-6.7	-8.6	-1.2	2.8	7.1	2.2	
		<仕入れ価格>		26.5	16.3	3.4	8.0	8.9	12.3	31.9	42.2	55.5	55.9	
		<資金繰り>【楽 - 苦】		-16.0	-23.4	-37.5	-24.2	-19.3	-19.3	-12.6	-12.4	-11.3	-23.5	
		<人手過不足>【過剰 - 不足】		-37.7	-27.8	-2.5	-11.7	-20.5	-17.8	-23.6	-28.0	-30.4	-19.4	
		<残業時間>		-1.9	-16.9	-33.2	-26.1	-20.5	-17.2	-10.4	-6.5	-3.4	-14.5	
		<借入難易度>【易 - 難】		-0.6	-3.1	3.1	2.5	3.4	0.9	-1.8	-2.2	-1.8	-2.5	
		<設備稼働状況>		-14.8	-10.0	-5.8	-10.1	-11.9	-11.0	-16.0	-13.4	-13.2	-14.2	
		<設備投資割合>(実績)【%】		30.6	26.3	23.1	24.2	20.8	23.9	23.0	23.6	25.2	26.2	
		<設備投資割合>(予定)【%】		23.1	22.2	26.6	18.8	19.9	17.7	26.1	23.6	19.6	20.2	23.5
		製造業	<業況>(実績)		-30.5	-49.2	-61.0	-57.6	-59.3	-58.3	-16.7	-16.7	-37.3	-30.0
<業況>(予想)			-20.3	-27.1	-37.3	-74.6	-62.7	-59.3	-43.3	-25.0	-25.0	-33.9	-35.0	
<売上額>			-23.7	-50.8	-54.2	-44.1	-27.1	-45.0	20.0	-15.0	-1.7	-26.7		
<売上額>(前年同期比)			-25.4	-39.0	-62.7	-64.4	-57.6	-45.0	6.7	5.0	8.5	5.0		
<収益>			-25.4	-50.8	-61.0	-50.8	-32.2	-51.7	6.7	-20.0	-20.3	-35.0		
<収益額>(前年同期比)			-27.1	-40.7	-62.7	-61.0	-57.6	-55.0	10.0	-10.0	-6.8	-1.7		
<収益>(予想)			-10.2	-37.3	-11.9	-55.9	-45.8	-27.1	-11.7	-18.3	-5.0	-30.5	-5.0	
<販売価格>			1.7	-1.7	-13.6	-5.1	-5.1	-3.3	8.3	11.7	18.6	16.7		
<仕入れ価格>			18.6	22.0	13.6	8.5	18.6	21.7	45.0	70.0	71.2	76.7		
<資金繰り>【楽 - 苦】			-23.7	-37.3	-33.9	-37.3	-25.4	-28.3	-6.7	-16.7	-13.6	-30.0		
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-20.3	-13.6	20.3	1.7	-10.2	-10.0	-26.7	-25.0	-30.5	-30.0		
<残業時間>			-1.7	-11.9	-39.0	-37.3	-35.6	-18.3	8.3	5.0	-5.1	0.0		
<借入難易度>【易 - 難】			1.7	-5.1	13.6	3.4	3.4	6.7	-3.3	-1.7	-11.9	-6.7		
<設備稼働状況>			-11.9	-16.9	8.5	-13.6	-18.6	-15.0	-23.3	-20.0	-15.3	-33.3		
<設備投資割合>(実績)【%】			30.5	30.5	25.4	23.7	27.1	31.7	33.3	36.7	32.2	43.3		
<設備投資割合>(予定)【%】			33.9	23.7	37.3	15.3	23.7	20.3	33.3	40.0	30.0	30.5	38.3	
卸売業	<業況>(実績)			-33.3	-21.7	-82.6	-73.9	-39.1	-43.5	-43.5	-30.4	-21.7	-43.5	
	<業況>(予想)		-12.5	-45.8	-47.8	-87.0	-69.6	-69.6	-30.4	-34.8	-30.4	-39.1	-34.8	
	<売上額>		-41.7	-13.0	-73.9	-26.1	-17.4	-34.8	-26.1	-30.4	-17.4	-17.4		
	<売上額>(前年同期比)		-45.8	-21.7	-87.0	-82.6	-60.9	-60.9	-30.4	-26.1	0.0	4.3		
	<収益>		-45.8	-8.7	-69.6	-21.7	-17.4	-34.8	-21.7	-17.4	-13.0	-30.4		
	<収益額>(前年同期比)		-54.2	-13.0	-82.6	-73.9	-52.2	-52.2	-30.4	-21.7	-8.7	-13.0		
	<収益>(予想)		-16.7	-29.2	-47.8	-52.2	-47.8	-8.7	-8.7	-26.1	-39.1	-26.1	-13.0	
	<販売価格>		12.5	8.7	-17.4	-13.0	0.0	0.0	4.3	17.4	30.4	21.7		
	<仕入れ価格>		37.5	21.7	17.4	8.7	8.7	21.7	30.4	39.1	65.2	60.9		
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-16.7	-21.7	-34.8	0.0	0.0	-8.7	4.3	-13.0	4.3	0.0		
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-25.0	-21.7	13.0	4.3	-26.1	-4.3	-17.4	0.0	-17.4	0.0		
	<残業時間>		4.2	-8.7	-47.8	-39.1	13.0	-17.4	-30.4	-34.8	0.0	-8.7		
	<借入難易度>【易 - 難】		12.5	0.0	13.0	13.0	17.4	17.4	13.0	8.7	13.0	8.7		
	<設備稼働状況>		-16.7	-17.4	-4.3	-8.7	0.0	-8.7	-17.4	-13.0	-4.3	0.0		
	<設備投資割合>(実績)【%】		12.5	17.4	17.4	26.1	26.1	26.1	26.1	13.0	21.7	30.4		
	<設備投資割合>(予定)【%】		16.7	12.5	30.4	13.0	13.0	21.7	21.7	26.1	8.7	17.4	17.4	
	小売業	<業況>(実績)		-45.8	-50.0	-83.6	-77.0	-62.3	-60.0	-49.2	-57.6	-31.7	-67.2	
<業況>(予想)			-35.6	-39.0	-58.6	-82.0	-78.7	-67.2	-50.0	-52.5	-64.4	-40.0	-49.2	
<売上額>			-30.5	-58.6	-78.7	-41.0	-41.0	-61.7	-18.0	-15.3	-16.7	-45.9		
<売上額>(前年同期比)			-44.1	-43.1	-86.9	-82.0	-67.2	-55.0	3.3	-23.7	-5.0	-41.0		
<収益>			-39.0	-53.4	-65.6	-44.3	-41.0	-63.3	-21.3	-32.2	-40.0	-50.8		
<収益額>(前年同期比)			-50.8	-34.5	-75.4	-67.2	-50.8	-55.0	-13.1	-33.9	-18.3	-45.9		
<収益>(予想)			-8.5	-23.7	-32.8	-54.1	-37.7	-54.1	-18.3	-29.5	-37.3	-31.7	-6.6	
<販売価格>			-1.7	-1.7	-21.3	-14.8	-9.8	-8.3	6.6	15.3	23.3	16.4		
<仕入れ価格>			20.3	1.7	-9.8	0.0	4.9	8.3	26.2	33.9	41.7	36.1		
<資金繰り>【楽 - 苦】			-27.1	-32.8	-42.6	-21.3	-26.2	-25.0	-23.0	-15.3	-18.3	-34.4		
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-28.8	-19.0	0.0	-4.9	-13.1	-15.0	-19.7	-15.3	-18.3	-16.4		
<残業時間>			-3.4	-12.1	-24.6	-14.8	-13.1	-15.0	-1.6	-10.2	-5.0	-8.2		
<借入難易度>【易 - 難】			-11.9	-6.9	4.9	8.2	4.9	5.0	0.0	1.7	3.3	-3.3		
<設備稼働状況>			-16.9	-10.3	-9.8	-11.5	-9.8	-13.3	-14.8	-8.5	-13.3	-8.2		
<設備投資割合>(実績)【%】			27.1	19.0	14.8	23.0	16.4	16.7	19.7	20.3	25.0	13.1		
<設備投資割合>(予定)【%】			16.9	16.9	13.8	14.8	13.1	16.4	25.0	21.3	16.9	11.7	14.8	
サービス業		<業況>(実績)		-24.7	-44.9	-74.4	-63.3	-45.6	-59.0	-39.7	-36.4	-34.2	-54.7	
	<業況>(予想)		-19.2	-42.9	-51.3	-70.5	-63.3	-59.5	-53.8	-51.3	-41.6	-44.3	-32.0	
	<売上額>		-10.4	-50.0	-78.2	-22.8	-20.3	-61.5	-14.1	-5.2	-8.9	-53.3		
	<売上額>(前年同期比)		-20.8	-50.0	-71.8	-67.1	-49.4	-64.1	7.7	-14.3	-7.6	-37.3		
	<収益>		-20.8	-44.9	-76.9	-29.1	-22.8	-62.8	-32.1	-13.0	-12.7	-49.3		
	<収益額>(前年同期比)		-23.4	-43.6	-69.2	-60.8	-46.8	-60.3	-3.8	-20.8	-6.3	-41.3		
	<収益>(予想)		-15.4	-35.1	-39.7	-38.5	-43.0	-45.6	-19.2	-15.4	-36.4	-43.0	-8.0	
	<料金価格>		13.0	2.6	-14.1	1.3	-6.3	-3.8	-5.1	3.9	1.3	6.7		
	<仕入れ価格>		37.7	24.4	-3.8	13.9	12.7	9.0	19.2	33.8	62.0	60.0		
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-19.5	-17.9	-59.0	-35.4	-27.8	-30.8	-23.1	-23.4	-20.3	-34.7		
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-35.1	-35.9	10.3	-2.5	-15.2	-11.5	-11.5	-22.1	-34.2	-17.3		
	<残業時間>		-3.9	-21.8	-46.2	-35.4	-35.4	-43.6	-21.8	-6.5	-3.8	-20.0		
	<借入難易度>【易 - 難】		-6.5	-5.1	-1.3	-3.8	-7.6	-9.0	-6.4	-10.4	-7.6	-2.7		
	<設備稼働状況>		-26.0	-15.4	-14.1	-13.9	-17.7	-10.3	-19.2	-19.5	-29.1	-21.3		
	<設備投資割合>(実績)【%】		41.6	34.6	29.5	29.1	22.8	28.2	15.4	22.1	19.0	26.7		
	<設備投資割合>(予定)【%】		26.9	24.7	32.1	25.6	25.3	17.7	30.8	23.1	19.5	27.8	26.7	

合計 / D.I.														
業種区分	項目	分析基準	201912	202003	202006	202009	202012	202103	202106	202109	202112	202203	202206	
建設業	<業況>(実績)		7.1	-38.1	-27.4	-19.0	-15.3	-17.6	-23.8	-15.7	-12.9	-42.4		
	<業況>(予想)		8.2	-23.5	-19.0	-11.9	-22.6	-44.7	-22.4	-3.6	-26.5	-47.1	-18.8	
	<売上額>		-10.6	-39.3	-7.1	-10.7	-12.9	-30.6	-19.0	2.4	-8.2	-43.5		
	<売上額>(前年同期比)		-17.6	-45.2	-35.7	-45.2	-37.6	-17.6	-20.2	-20.5	-15.3	-31.8		
	<収益>		-7.1	-46.4	-16.7	-10.7	-15.3	-30.6	-16.7	-14.5	-10.6	-48.2		
	<収益額>(前年同期比)		-23.5	-46.4	-29.8	-45.2	-41.2	-18.8	-26.2	-26.5	-28.2	-36.5		
	<収益>(予想)		-3.5	-31.8	-1.2	-19.0	-25.0	-43.5	-18.8	-6.0	-30.1	-52.9	-1.2	
	<請負価格>		-8.2	-16.7	-8.3	-10.7	-1.2	-12.9	-8.3	-12.0	-8.2	-22.4		
	<仕入れ価格>		34.1	17.9	16.7	14.3	10.6	17.6	47.6	49.4	55.3	61.2		
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-5.9	-19.0	-25.0	-19.0	-10.6	-9.4	-8.3	-2.4	-9.4	-17.6		
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-67.1	-34.5	-32.1	-34.5	-38.8	-36.5	-38.1	-54.2	-45.9	-18.8		
	<残業時間>		0.0	-23.8	-20.2	-16.7	-14.1	3.5	-19.0	-6.0	-2.4	-31.8		
	<借入難易度>【易 - 難】		4.7	1.2	-1.2	0.0	7.1	-3.5	-3.6	-6.0	-2.4	-7.1		
	<設備稼働状況>		-8.2	0.0	-7.1	-6.0	-9.4	-10.6	-11.9	-9.6	-2.4	-5.9		
	<設備投資割合>(実績)【%】		35.3	28.6	28.6	26.2	21.2	24.7	29.8	26.5	32.9	28.2		
	<設備投資割合>(予定)【%】		23.5	30.6	27.4	23.8	23.8	20.0	24.7	19.0	21.7	17.6	23.5	
	不動産業	<業況>(実績)		-15.0	11.1	-40.0	-15.0	-35.0	-15.0	0.0	-5.0	5.0	-5.0	
		<業況>(予想)		-20.0	0.0	-5.6	-55.0	-30.0	-15.0	-10.0	0.0	-5.0	-25.0	0.0
		<売上額>		-5.0	0.0	-55.0	-30.0	-15.0	-15.0	-15.0	-15.0	15.0	-35.0	
		<売上額>(前年同期比)		15.0	5.6	-55.0	-45.0	-20.0	-30.0	25.0	-25.0	25.0	-35.0	
<収益>			0.0	0.0	-55.0	-20.0	-15.0	-15.0	-10.0	-20.0	10.0	-25.0		
<収益額>(前年同期比)			10.0	-5.6	-65.0	-35.0	-15.0	-40.0	15.0	-25.0	20.0	-25.0		
<収益>(予想)			10.0	0.0	-16.7	-35.0	-25.0	0.0	-15.0	-10.0	5.0	-20.0	5.0	
<販売価格>			-10.0	-16.7	-25.0	-35.0	-35.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-20.0		
<仕入れ価格>			-20.0	-5.6	-30.0	-20.0	-30.0	-25.0	-5.0	-10.0	15.0	10.0		
<資金繰り>【楽 - 苦】			10.0	5.6	-5.0	0.0	-5.0	15.0	5.0	10.0	25.0	20.0		
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-15.0	-44.4	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	0.0	-30.0		
<残業時間>			-5.0	-5.6	-30.0	-15.0	-5.0	-5.0	10.0	0.0	0.0	10.0		
<借入難易度>【易 - 難】			10.0	0.0	-10.0	5.0	10.0	10.0	5.0	20.0	20.0	20.0		
<設備稼働状況>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(実績)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(予定)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	